

# 大好き☆出雲!

季刊



## 出雲弥生の森博物館だより

IZUMO YAYOI NOMORI MUSEUM

弥生の出雲王に会える



マスコットキャラクター  
よすみちゃん

### 第2号 (2011年7月)



**★インフォメーション**

**●特別展**  
「弥生人の姿―倭人伝の人々―」  
ただいま開催中!  
(期間) 7/16(土)～9/19(祝)  
(観覧料) 500円  
※高校生以下無料

昨年の開館特別展「弥生人の彩エンス」に続き、弥生世界の復元を試みる挑戦の第2弾! 今回のテーマは「弥生人の姿」です。「魏志」倭人伝に記された倭人たちは一体どのような姿をしていたのでしょうか。  
弥生人たちが残した人形や人面などを紹介し、真実の弥生人の姿にせまります。  
あなたの知らない弥生人たちが会場で待っています。

**特別展開催期間中の催し**

**◎特別記念講演**  
日本におけるイレズミの起源と謎  
7/30(土) 10時～12時  
【講師】 設楽博己 氏  
(東京大学大学院教授)

**◎特別展開連講座**  
① 真実の弥生人像  
7/24(日) 14時～16時  
【講師】 須賀照隆 (博物館職員)

② 弥生人に大変身!  
8/6(土) 14時～16時  
【講師】 須賀照隆 (博物館職員)

③ 弥生のヘアースタイル  
9/10(土) 14時～16時  
【講師】 甲斐梨加 氏  
(松江理容美容専門学校)

**◎出雲弥生の森体験教室**  
① ガラス玉づくり  
7/23(土) 14時～16時  
【講師】 村上 始 氏  
(四條畷市教育委員会)

② 草木染め  
8/7(日) 14時～16時  
【講師】 三原一将 (博物館職員)

③ 筒描藍染  
8/21(日) 14時～16時  
【講師】 長田茂伸 氏 (長田染工場)

※すべて電話等でお申し込みが必要です。

**★イベント リポート**

**●ギャラリー展示 「発掘調査で見つかった地震の跡」**  
6/7～7/11にかけて、出雲市の山持遺跡(西林木町)・藤ヶ森南遺跡(今市町)で見つかった地盤の液化化現象の痕跡など、地震の跡を写真パネルで紹介しました。  
3月の東北地方太平洋沖地震の発生をうけての展示で、地震に対する関心が高いこともあり、多くの新聞・テレビで取り上げられました。市民の皆様の反響も大きく、「驚いた」「初めて知った」との声を多数いただきました。出雲市内の過去の地震の跡を紹介することで市民の皆様の防災意識を高めることができたいと思います。

今回の展示を機会に、過去の出雲の地震を記録した史料の情報を多数頂きました。史料を調査した上で、改めて展示の場を設けることを検討しています。  
7/13から「描かれた人面」奈良・平安時代の人々の祈り」を開催中です。お楽しみください。

※「発掘調査で見つかった地震の跡」は、8/1～8/31まで出雲市役所本庁舎一階「市民ギャラリー」で展示します。

●出雲弥生の森まつり

開館日の4月29日を中心に開館一周年を記念して「出雲弥生の森まつり」を開催しました。  
地元支援団体「弥生の森おまつり」の皆さんによる様々な催しもあり、期間中約4000人の人出で賑わいました。



子ども達の人気者です！



自作土笛の演奏も大成功！（大津小6年生と笛作家の樋野さん）



きれいに出来たかな？（手芸体験）

狙いを定めて、えいっ！（フリーフロー）



屋台村で舌つづみ！「大津焼きそば」はすぐに売切れるほどの人気でした！

★特集 研究ノート②

真実の弥生人像  
〜2011年特別展から〜

みなさんは「弥生人」と聞いてどのような姿を想像するでしょうか？教科書や歴史雑誌の挿絵などで目にする弥生人たちの多くは、きれいな顔と体に単純な髪形をし、男女ともに貫頭衣を着ています。

こうした姿も弥生人たちの一つの姿であったかもしれませんが、『魏志』倭人伝の記述と最新の考古資料を照らし合わせたとき、それとは全く異なった弥生人像が浮かび上がってきます。

『魏志』倭人伝には、貫頭衣は女性の衣装であって、男性の衣装は横長の布を体に結びつけたものだったこと、男女がそれぞれ独特の髪形であったこと、男性が顔や体にイレズミをしていたことなど、弥生人たちの姿にかかわる記述が随所にみられます。

実は、この倭人伝の記述を裏付けるかのような考古資料が日本各地で発見されているのです。例えば、写真①の土器には男性の衣装を想像させるマントと腰布を巻い

た弥生人の姿が、写真②③の土製品には男性のイレズミと男女の髪形を連想させる弥生人の顔が表現されています。  
真実の弥生人たちは私たちの想像以上にお洒落な姿をしていたのではないのでしょうか。

（出雲市文化財課 須賀 照隆）



③弥生女性の顔  
（女性の髪形）

写真：茨木市教育委員会



②弥生男性の顔  
（男性のイレズミと髪形）

写真：香川県教育委員会



①マントと腰布を巻いた姿  
（男性の衣装）

写真：岡山県教育委員会

★発掘調査の現場から①

「聖谷奥I遺跡」(多伎町奥田儀)

小田川の上流域で、西側から流れ込む聖谷川の上流へ約二メートルのところに、田儀櫻井家たたら製鉄遺跡のひとつ、「国史跡 聖谷たたら跡」があります。そこからさらに奥へ三百メートルのところに、「聖谷奥I遺跡」が存在します。

今回の発掘調査は、島根県の林道宮本聖谷線工事に伴って、出雲市文化財課が今年の三月から七月にかけて実施しました。



聖谷奥I遺跡全景(北から)

川沿いの平坦面二八〇平方メートルを調査した結果、炭窯跡を二ヶ所確認しました(写真奥と写真中央に各一ヶ所)。

奥の炭窯跡については、川の土石流により大部分が壊されており、

規模はわかりませんが、側壁に縦横六〇センチあまりの板状の石を立ててあることがわかりました。中央

にある炭窯跡は、大きいもので長さが約五メートル、幅は広いところで約二・五メートルの楕円形をしており、側壁には人頭大の石が使われていました。天井は壊れており、原形はわかりませんが、ドーム型に土が盛ってあったと考えられます。さらに排煙口は岩盤を削ってつくられ、四ヶ所見つかっていることから、同じ場所にも何回も作り替えられたことがわかりました。



見つかった炭窯跡

これらの炭窯跡は、近世の炭窯であると考えられ、この周辺地域のたたら製鉄用の燃料の生産を考える上で、重要な基礎資料となりました。

★出雲市のお宝紹介①

(指定文化財)

「稗廻の二連のサワラ」(市指定)

出雲市東福町の個人邸宅(屋号稗廻)の庭に大きな三本のサワラがあります。このうち二本は幹の周囲が三・五メートル以上もあるもので、二本の根元が板状に繋がっています。繋がった部分は高さ八十センチにもなります。



二連のサワラ(全景)

これは、同時に育った二本の木が徐々につながっていく現象で、ここから二連と呼んでいます。これほど高く繋がるには相当の年月を要します。樹木の高さは約二一メートルあり、樹齢およそ三五〇年と推定されます。二〇〇九年六月に市指定文化財となりました。サワラは、ヒノキ科ヒノキ属で

九州を除く関東以西に多く分布していますが、雪が多い日本海側には少ないとされています。種名には、ヒノキに比べてさりと割れるという意味もあります。湿気に強く、匂いがないので古くから桶(おけ)や飯櫃(めしびつ)などの用材に使われてきました。

稗廻の二連のサワラは、家屋から五メートル離れた庭先に植栽されているにもかかわらず、自然の形がそのまま残され、良好に成育していることが大きな特徴で、非常に貴重な樹木です。

樹木の持ち主であるこの家は、古く尼子家の家臣と伝えられ、尼子氏滅亡後に当地へ移り住み、その際に植えられたものと考えられています。これまで代々大切に保護されてきたことが分かります。



根元が板状に繋がる

## ★博物館アテンダントコーナー

## ●テーマ「博物館の魅力伝えます」

(久家) みなさんこんにちは！

博物館アテンダントの久家と申します。今号から私たちアテンダントのコーナーが始まることとなりました。展示関係は博物館学芸員にお任せしまして、私たちは接客係としての視点・観点から「おもしろい！」記事を書いていこうと思っています。

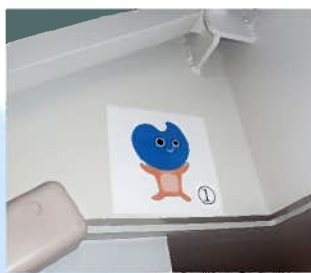
記念すべき第1回のテーマは「博物館の魅力伝えます」です。進行は私が担当し、アテンダントの皆さん(以下(ア))に答えていただきますように。

## ★ずばり聞きました 出雲弥生の森博物館の魅力とは？

(ア) やっぱ大人だけでなく、子どもも楽しめるところだと思いませんか。

砂場での発掘体験「ほってみよう」や土器パズル、弥生人になりきれ「着てみよう」のコーナー、そして何と言っても一番人気は、「かくれキャラクター探しゲーム」です。博物館の一階に「ひつ

そり」と隠れている10個のキャラクターを探しあてるとステキな「オリジナルバッジ」がもらえるというゲームです。このキャラは博物館マスコットキャラクター募集で借しくも採用されなかった作品の一部を、有効活用しているんです！すべて探しあてるのはなかなか難しく、親子連れでワイワイ楽しんでいたでいています。定期的にキャラも隠れている場所も入れ替えているので、何度でも楽しんでいただけるのが魅力です。



あつ、あんなところにあるよ！  
1個み一つけた！ あとの9個はどこかな？

## ★充実のミュージアムショップ！

(久) 体験コーナー以外ではどんな魅力スポットがありますか？

(ア) そうですね。おみやげが充実したミュージアムショップかな！博物館でしか買えないオリジナルグッズや、ジャム・クッキー・ラーメン・藻塩などの食べ物、

歴史好きにはたまらない展示図録や書籍などが置いてあります。ここで人気商品☆を紹介します！

## 1位 勾玉クッキー 100円

性別・年齢を問わない断トツの人気商品です。オリジナル勾玉と四隅突出型墳丘墓の形をしています。



## 2位 航空写真ポスター 500円

出雲平野が一望できる分かりやすさと価格で堂々のランキング！

## 3位 展示図録

300円～1000円

歴史好きの方や展示への理解を深めたい方に好評です。

(久) この博物館ならではのオススメ商品はありますか？

(ア) ネットレス勾玉がオススメです！3号墓から実際に出土した勾玉をモチーフにしており、本物同様、光を照らすと美しいコバルトブルーに輝くんです！  
(久) ぼくも買っちゃおう！

## ★よすみちゃんクイズ

マスコットキャラクター「よすみちゃん」のクイズを出題します。

Q. よすみちゃんの好きな食べものは？

(ヒント) 秋の弥生の森

「博物館ホームページ」の「スタッフ通信」にも注目してね！

## ●クイズの答え応募方法

ハガキ、FAX、メールで住所・氏名・連絡先・クイズの答えを記入のうえ、博物館へお送りください。★抽選で3名様に博物館オリジナルグッズをプレゼント！

(応募締切) 8月31日必着

※答えは次号に掲載します。また、当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※各種講座・講演会は、当館へ電話・FAXでお申込みください。(講座・氏名・住所・連絡先)  
※申込多数の場合お断りすることがあります。

(発行) 出雲弥生の森博物館 2011年7月

〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760  
(TEL) 0853-25-1841 (FAX) 0853-21-6617  
(e-mail) yayoi@city.izumo.shimane.jp  
http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori  
●入館料／無料(特別展等観覧料を除く)  
●開館時間／9:00～17:00(入館16:30まで)  
●休館日／火曜日(祝日の場合翌日)・年末年始